横浜天声キリスト教会　週報　第15巻4号(No.520)　2020年1月26日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ゼカリヤ3:2-4 ・・・・・・・・御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13番 天には御使
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・　3番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　40番　輝く日を仰ぐとき
礼拝のための祈り ・・・・・・・成田エクレシア:河執事　天声:小林 伝道師
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　344番　この目は何も見えずとも
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・主の時に引き上げられる神の民と、降ろされる敵(エステル記7章)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・　410番　なにゆえみ神は
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

時に主は____が主の使の前に立ち、サタンがその右に立って、これを訴えているのを示された。主はサタンに言われた、「サタンよ、主はあなたを責めるのだ。すなわち____を選んだ主はあなたを責めるのだ。これは火の中から取り出した燃えさしではないか」。____は汚れた衣を着て、み使の前に立っていたが、み使は自分の前に立っている者どもに言った、「____の汚れた衣を脱がせなさい」。また____に向かって言った、「見よ、わたしは____の罪を取り除いた。____に祭服を着せよう」。わたしは言った、「清い帽子を頭にかぶらせなさい」。そこで清い帽子を頭にかぶらせ、衣を____に着せた。主の使はかたわらに立っていた。主の使は、____を戒めて言った、「万軍の主は、こう仰せられる、あなたがもし、わたしの道に歩み、わたしの務を守るならば、わたしの家をつかさどり、わたしの庭を守ることができる。
わたしはまた、ここに立っている者どもの中に行き来することを得させる。____よ、あなたも、あなたの前にすわっている同僚たちも聞きなさい。彼らはよいしるしとなるべき人々だからである。見よ、わたしはわたしのしもべなる枝を生じさせよう。(ゼカリヤ3:1-8)

メッセージ概要

主から特別扱いを受け、大きな恵みを頂いて大きく用いられる性質とは何か。引き続きエステル記から恵みを得たい。彼女は王に、ユダヤ人を救って欲しいと訴える機会を、二度も引き伸ばした。それは実は、主の時間的主権による。その晩、主は二つの重要な出来事を起こした。モルデカイは、神の民を訴える者・ハマンの陰謀によって、木にかけられそうになったが、紙一重の差でそうはされず、しかも一転、彼に大きな栄誉が与えられた。ハマンは大いに悔しがったが、ちょうどその時、エステルの宴会の時間となった。

王はエステルの願いは何かを二度聞いたのに、彼女はただ「わたしが設ける宴会に、ハマンと一緒にお越し下さい」と答えただけだった。彼女はその時、ユダヤ人の救いという、あまりに重要な願いを言う勇気が無かったのかもしれない。しかしこの度、モルデカイが大いに栄誉を受けたのを見て、彼女も勇気を得ただろう。**主は、口をつぐむべき時と語るべき時、しかも、語るべき勇気と、語るべき言葉を用意して下さる。**
王は、彼女が命がけで進み出た願い事は、一体何だろう？王国の半分も与えてやっても良い、という気でいた。しかし彼女の願いは、浅はかな「モノねだり」ではなく、なんと「わたしの命を救い、わたしの民族を救って下さい」という、切羽詰まるものだった。普通、願い事の内容が、切実であればある程、なりふり構わず焦って粗相しそうな所があるかもしれない。そして、出てはならないタイミングや場面でそれを披露し、逆に大ひんしゅくを買うような事も、ありがちである。しかし彼女は、自分のいのちだけでなく、自分の民族全体を救って欲しいと切実な願いをするよりも、王をおもてなしをする事を優先し、「もし王様のお許しが得られれば」と、慎ましく願い出た。王は、こんなにも美しく慎ましいエステルを、どれ程、愛らしく思っただろう。私達も、**自分の時間・自分の願いよりも、王の王・主キリストを喜ばせる事を優先させる**なら、エステルのようになれる。王は、彼女をこんなにも切羽詰まらせた者は一体誰で、どこにいるのか、と、怒りを燃やした。
彼女は、聞かれたので、初めてその相手を明かす。『*そのあだ、その敵はこの悪いハマンです*』(6節)

王は、それを聞くと、怒って出て行った。すぐその場でハマンに刑罰を言い渡さなかったのは、ハマンは、王が選んだ重職の人物なので、怒りに身を任せて、先走ったさばきをしないため、だったかもしれない。気を落ち着けて、よく考えてから、ハマンの処遇を決めよう、としたのかもしれないが、ちょうど王が戻ってきたタイミングで、王の目の前で展開されていた光景は、ハマンの処刑を決定的なものにした。
『*王が宮殿の園から酒宴の場所に帰ってみると、エステルのいた「長いす(ミター:ベッド、カウチ)」の上にハマンが伏していたので、王は言った、「彼はまたわたしの家で、しかもわたしの前で王妃を「はずかしめよう(NKJV:assault)」とするのか。*』(8節)　ハマンとしては、アサルト(突撃)する勢いで謝罪していたかもしれないが、しかし、エステルのベッドの上で突撃的な謝罪をするハマンの姿は、王の目には、エステルに乱暴しようとしているかのように写ったのだ。そのタイミングもまた、主の時間的主権が為したものである。
ハマンの仕方は、エステルとは真逆である。**時と場所をわきまえず**、全て強引で、配慮が無かった。もし妻のベッドに突撃せんばかりに伏している男を見たら、王でなくても排除したいと思うものだが、ハマンは、そういったわきまえや思慮が欠如していた。彼は普段から、むしゃくしゃすると誰彼かまわず呼んで怒りや自慢話をぶちまけたり、またモルテガイを木に吊るそうと思い立った時も、深夜なのに王に直訴したりと、全く、自分の思い立った時間で動いており、そのようなわきまえや秩序を一切身に着けていなかった。
『*諸々の国民は自分の作った穴に陥り、隠し設けた網に自分の足を捕えられる。主はみずからを知らせ、さばきを行われた。悪しき者は自分の手で作ったわなに捕えられる。〔ヒガヨン、セラ〕*』(詩篇9:15)

私達もエステルのように、王の王・キリストの喜びとなる事をいつも思い、主のための宴会、すなわち、主の喜ばれるセレブレーション(礼拝)を捧げるなら、たとえハマンのような訴える者が現れても、主は「彼を訴える者とは何者か」と言ってその者を蹴散らし、訴えるサタンに対しては「*サタンよ、主はあなたを責めるのだ*」と言って逆に弁護して下さり、汚れた衣を脱がせ、栄光の冠を授けて下さるのだ(ゼカリヤ3:1-5)。
主を愛し、主の喜びとなろうとする民のために主がなさる事は、いつも時に適って美しい。エステルのように、王の王である主の喜びとなる事を、いつでも考え、時にかなった救いと栄誉を受け、主の民のために大いに用いられる皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	賛美 10:30	礼拝 11:00
食事/フェローシップ		12:30～
English Service		14:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:30～

金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 15 巻 4 号　　2020 年 1 月 26 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@ yahoo.co.jp

YouTube